

北区自治協議会 会議概要

| 平成 30 年度 第 11 回 北 区 自 治 協 議 会 |   |
|-------------------------------|---|
| 開催日時                          | 平成 31 年 2 月 21 日（木曜） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分  |
| 会場                            | 北地区コミュニティセンター2階 大ホール  |
| 出席者                           | <p>委員</p> <p>倉島敏弘、松田正實、赤間松次、阿部康夫、五十嵐隆吉、本間藤雄、山賀好郎、若月則子、渡邊正廣、渡邊正之、阿部淳一、五十嵐紀子、上松鉄雄、川居栄子、川島朝臣、工藤真美、後藤静枝、小林啓一郎、曾我美智緒、高橋正寿、真壁麻優、村中美和子、阿部美恵子、梅津玲子、岡昌子、本間久文、若尾明弘、阿部恵美子</p> <p>計 28 人</p> <p>（欠席：内川えつ子、高口和則）</p> <p>* 敬称略</p>  |
|                               | <p>事務局等</p> <p>〔北区役所関係〕</p> <p>副区長兼地域総務課長（以下「副区長」、区民生活課長、健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、北出張所長、北区農業委員会事務局長、北下水道分室長、消防局北消防署長、北区教育支援センター所長、豊栄地区公民館長、地域総務課長補佐（2人）、課員 5人</p> <p>〔危機管理防災局関係〕</p> <p>防災課長、防災課員 2人、危機対策課員 1人</p> <p>計 22 人</p>  |
| 内容                            | <p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第 7 期北区自治協議会委員の推薦について</p> <p>◎議事資料 1 に基づいて山賀座長が報告を行い、第 7 期北区自治協議会委員名簿（案）が全会一致で承認されました。</p> <p>→質問や意見等はありませんでした。</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 総合ハザードマップの全戸配布について</p> <p>◎報告資料 1 に基づき、防災課長及び担当職員が報告を行いました。</p> <p>【主な質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の浸水想定区域図については、河川毎の浸水想定を重ねて出しているということだが、複数河川が同時に氾濫した場合は水量が合わさり、水位がかなり上がることが予想されるが、その想定もしているのか。</li> <li>→個々の河川の浸水想定を出し、一番高くなる河川の水位を記載している。複数河川が同時に破堤し、その水量を足し込んだ浸水想定は出していない。</li> <li>・複数河川が同時に氾濫して、大きな河川の水が小さな河川に入って逆流するということが他の地域で起こっている。松浜地区などでは、そのような想定をしておく必</li> </ul> |

内 容

要があるのではないか。

→個々の河川の水量を足し込んだ想定を出すかどうかは、河川管理者と相談し、要望していきたい。

- ・総合ハザードマップの全戸配布について、中学校区毎に居住者に配布するということが、他校区に勤務先があるなど、他の地域のハザードマップも必要となる場合がある。新潟市全体を網羅するハザードマップも必要ではないか。

→市のホームページでは、全ての地域のハザードマップを見ることができる。また各区において他区のハザードマップを置く予定であり、各区や防災課にご連絡いただければ、他地域分もお渡しできる。

- ・新潟市全体を把握できるハザードマップが作成されていれば、各地域の分を市のホームページからダウンロードする手間も省ける。市内全体図についても検討いただきたい。

→全体図を紙面で作成するのは難しいと思うが、市のホームページなどで見ることができるよう検討したい。

- ・各指定避難所の受け入れ可能人数について、総合ハザードマップには記載されていないが、関係者には知らせた方がよいのではないか。地域の代表者にとっては、どこにどの程度の人数が避難すると良いか、判断する基準にもなる。有効な活用を検討いただきたい。

→各避難所の受け入れ可能人数について、今回の総合ハザードマップには記載されていないが、市のホームページでは新潟市地域防災計画（資料編）としてご覧いただける。また地域の代表者には、避難所運営体制連絡会に出席された際に説明している。

- ・新庁舎の建設予定場所の浸水想定は、0.5～3.0メートルとなっているが、被災時の影響をどの程度予測した計画となっているのか。可能な限り、水害に強い建築設計を検討してほしい。

→新庁舎建設予定地は、最低で1.2メートル程度の標高があり、千年の一度の規模の浸水では、標高2.5メートル程度まで浸水すると予測されている。そのため1メートル程度の土盛りをして建設する予定であるが、もし、標高3メートルまで浸水したとすれば、一階部分は浸水する恐れがある。

- ・総合ハザードマップは地域で配布するが、これを活かすためには、ただ配るのではなく、マップの見方や重要性についてマスメディアなどでPRしたり、勉強会をしたりする必要があるのではないか。

→今後、各コミュニティ協議会総会など地域の集いに防災担当者が出向き、説明する予定であるが、その他の場合も、申し出ていただければ対応できる。

→市長記者会見を通じて、総合ハザードマップの完成はマスメディアにも取り上げられ、「市報にいがた3月17日号」にも掲載する予定である。今後も、地域の防災訓練など啓発の場に活用いただけるよう、連携して取り組みたい。

- ・降雨規模シミュレーションについて、大河川については千年に一度、その他の河川については70～150年に一度の規模が基準となっているが、それらの基準がどのように定められたのか、一般の人には分かりにくいのではないか。また、洪水

やその被害となると、破堤によるものもあれば内水が上がって氾濫する場合もあり、それらの違いやその対策については理解しにくいのではないかと。

→洪水については、千年に一度の規模で想定している。従来、洪水は 70～150 年に一度の規模で想定していたが、近年のゲリラ豪雨などにより、平成 28 年度から、国・県では千年に一度の規模で想定を見直すようになった。その最新データがある河川については盛り込んで掲載している。洪水については、昨年西日本豪雨程度の大雨を、また浸水については平成 10 年 8 月に観測された市内最大降雨程度が想定されている。分かりにくいところは、説明時に配慮したい。

- ・全戸配布された後で市内に転入してきた世帯には、どのように対応するのか。  
→各区と相談しているところだが、例えば、転入届のために訪れる区役所（地域総務課）で配布する方法を検討している。
- ・転入届のために 1 階の区民生活課に行った後で、総合ハザードマップを受け取りに 3 階の地域総務課まで行くのは大変だと思う。区民生活課窓口で一括管理できると良い。  
→総合ハザードマップは中学校区毎になっているため難しい面もあるかもしれないが、検討したい。
- ・千年に一度という想定は、どのように出しているのか。  
→河川管理者である国や県から、過去の降雨データに基づくシミュレーションによって、予測値が出されている。
- ・総合ハザードマップの文字が一部細かくて見づらい。これは完成されたものか。  
→完成されている。掲載ページに限りがあり、見づらいところもあり申し訳ないが、国土交通省の手引きに沿って作成した。

## (2) 部会の会議概要について

◎報告資料 2 に基づき、各部会長が報告を行いました。

→質問や意見等はありませんでした。

## 4 その他

◎小林委員より、「第 79 回新潟 JC フォーラム『まちのチカラ 協働プロジェクト～地域コラボの新しいかたち～』」について、案内がありました。

◎産業振興課長より、「無名塾公演 2019 野鴨」について、案内がありました。

◎本間久文委員より、「傾聴講座 日ごろの人間関係で大切にしたいこと」及び「東京交響楽団員によるチェロ・コントラバス デュオコンサート」について、案内がありました。

◎岡委員より、「はまます学会・コミュニティカレッジ・合同研究会」について、案内がありました。

◎次回協議会は 3 月 20 日（水曜）午後 3 時 00 分から

会場は北区地区コミュニティセンター

|       |   |
|-------|---|
|       | 5 閉会  |
| 傍聴者   | 3人  |
| 会議資料等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 第11回北区自治協議会次第</li> <li>・議事資料1：第7期北区自治協議会委員名簿（案）</li> <li>・報告資料1：新潟市総合ハザードマップ全戸配布について</li> <li>・参考資料：新潟市総合ハザードマップ（松浜中学校区）</li> <li>・報告資料2：部会概要</li> </ul> |